

【特選】

みんなが幸せになるために

浜小学校 五年 原田 怜苑

ぼくが、人権について考えることになったきっかけは、小学四年生のときに書いた人権作文です。それまでは、人権とは何か、よく分からなかったけれど、その作文を書いたときに、「人権てなんだろう?」と思い、調べてみました。

四年生のときに書いた作文は、障がいのある人たちが、もつとくらしやすくなればいいと思い、ぼくが見て思ったことや、考えたことなどを書きました。でも、人権とは誰もが生まれながらにして持っている、人間として幸せに生きていくための権利だそうです。色々と調べていく中で、障がいのある人たちの問題だけじゃなく、ぼくたちの周り

には、たくさんの人権問題があるということが分かりました。「女性問題」「戦争」「男女差別」「高れい者問題」そして、「いじめ」についてです。その中で、ぼくは「いじめ」について考えました。

いじめは人をきずつけてしまうものです。いやな思いをさせたり、苦しい思いをさせてしまったりすることで、絶対にいじめをしてはいけないと思っています。しかし、いじめを受けて学校に行っても、教室に入ることができない人、学校へ行きたくても行くことができずに不登校になってしまった人、そしてとても悲しいことに、いじめられて、いやな思いをしているのに、誰にも相談できずに自殺してしまう人もいます。

自殺をしてしまった人がいるというニュースを見たときに、お母さんは、必ず僕に話をしてくれれます。それは、「い

じめは絶対にしてはいけない。」という事です。そして、
ぼくに、「お友達をきずつけたり、いやな思いをさせたり、
仲間はずれにしたりしていないよね？」と聞かれます。そ
して、「あなたは大丈夫？友達からいやなことを言われたり、
されたりしていない？」とたずねられます、いじめは絶対
にしてはいけないことです。もし、何かあったときには必
ず、お父さんとお母さんに話したいと思います。お父さん
とお母さんは、「何があっても怜苑の味方だよ。自殺だけは
絶対にダメだから。」と話してくれます。命は一つしかない
からです。

たった一つの命を守るために、ぼくにできることを考え
てみました。もちろん、いじめは絶対にしません。友達と
仲良く毎日楽しく過ごします。だから、もし、困っている
友達や、つらい思いをしている友達を見かけたら話を聞い

てあげたいです。ぼくが仲良くなつて、その友達を楽しい
気持ちにしたいと思います。そして、いじめをしている人
がいたら勇気を出して、「それはやってはいけないことだ
よ。」と言える人になりたいです。

ぼくは、これからも人権についてしっかり考えていこう
と思います。みんなが幸せになるために。